

# 「もっす通信」

2019年 中村 亨「もっす」通信:NO.26号

連絡先：020-0853 盛岡市下飯岡3-22-1

TEL・FAX 019-658-0505

メールアドレス tohru.nk@gmail.com

ホームページ <http://nakamura-tohru.jp/>

## 中村とおる市議会議員活動報告

発行2019年7月



この議会活動報告の作成に関する経費は、政務活動費を充当しております。

夏本番を迎え、熱中症対策を充分に行ってくださいね。  
今回の「もっす」通信は、私が6月議会で質問した内容を中心に掲載いたしました。

\*いつも「もっす」通信をご覧いただきありがとうございます。  
お困りごとや市政への要望・意見などがございましたら、お気軽にお寄せください。

### 「私の質問項目」をピックアップ。

- ◎SDGs(エス・ディー・ジーズ、持続可能な開発目標)の目標11「住み続けられるまちづくり」を市政運営への捉え方は
- ◎盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値(出生数・婚姻件数)の最終年の見込みと事業効果と評価は
- ◎普通交付税における基準財政需要額の経費として地域公共交通政策を位置づけるよう、国に働き掛けるべきでは
- ◎多子世帯への経済的負担緩和のための新規応援事業に取り組むべきでは
- ◎児童センターの開館時間延長への対応を図るべきと思うが
- ◎「ショートステイ・トワイライトステイ」の整備への方針については
- ◎「子どもの権利条例」を策定するべきと考えるが
- ◎高齢者の地域振興へのボランティア等の活動に参加した場合の特典を検討すべきでは
- ◎ひきこもりのきっかけ要因をなくす継続的対策を図るべき
- ◎自治公民館組織と町内会組織の今後のあり方への見解は

\*主な一般会計6月補正予算は：下橋中学校夜間照明の全ランプのLED化19,437千円：地域密着型サービス施設等整備事業費補助金(認知症高齢者グループホームへ)32,000千円：介護施設開設準備経費等事業補助金(認知症高齢者グループホームへ)14,400千円：令和元年10月1日の消費税10%への引き上げに合わせて、所得の少ない第1段階から第3段階までの第1号被保険者の介護保険料を軽減することとなったことから、公費投入による軽減相当額について140,088千円を介護保険費特別会計に繰り出し、低所得者保険料軽減繰入金に増額補正する。：感染症予防事業58,300千円：予防接種事業15,197千円：雇用対策推進事業において東京23区在住者又は東京圏在住者で東京23区へ通勤者のうち本市に移住し、中小企業(条件がありますが)に就業、起業した場合に世帯での移住に対して100万円、単身での移住に対して60万円を支給する支援金等16,646千円など320,978千円の増額する補正予算です。

## 2019年6月定例会 質問より

### 子育て支援



#### 質問

安心して子育てができる環境の整備のさらなる推進のために、多子世帯の経済的負担緩和のための新規応援事業に取り組むべきでは？

#### 回答

他都市においては、多子世帯に対して、子育て支援サービスなどを利用する際の助成制度に取り組んでいる事例があるため、今後研究してまいりたい。

#### 質問

共働き家庭の増加により、児童センターの開館時間延長への対応を図るべきでは？

#### 回答

平成31年3月に策定した「児童の放課後の居場所づくりに関する方針」に基づき、放課後児童クラブが設置されていない小学校区の児童センターを中心に、留守家庭登録児童の利用時間の延長について検討することとしており、今後、保護者や指定管理者、運営委員会など関係者の皆様の意見を伺いながら、適切な対応を図ってまいりたい。

就労時間や交通事情を  
考慮して利用時間を  
延長できないかな…



#### 質問

「ショートステイ・トワイライトステイ」の施設の整備、統合保育、病児保育、一時保育などの体制の整備に係る今後の方針は？

#### 回答

現在、「子ども・子育て支援事業計画」の次期計画の策定に向け、子育て中の市民を対象としたニーズ調査を実施しているところである。その結果を踏まえ、必要な支援策について、次期計画を策定する中で検討してまいりたい。

## 若者支援



### 質問

芸術文化推進計画案が示された中で、若者の活動を応援するためには、練習会場としての公共施設の開放や、ライブ活動等を応援する取り組みが必要ではないか？

### 回答

これまで、地区公民館や文化会館などにおいて低廉な活動場所を提供してきたが、今般策定する「盛岡市芸術文化推進計画」の案においては、4つの方向性の1つに「芸術文化を支える人材や団体の育成及び環境の充実」を掲げ、若者が利用しやすい施設の料金や利用体系への見直しを想定する「芸術文化活動助成事業」を位置づけたところである。

また、「活動の場の確保のための調査」においては、空き店舗や隠れた魅力ある地域資源の掘り起こしを行い、各団体への情報を提供する仕組みについても考えることとしている。

今後、若者の活動に対し、実効性がある支援となるよう、団体等の意見を伺いながら事業の具体化を図ってまいりたい。

## 高齢者支援



### 質問

高齢者が地域振興のボランティア等の活動に参加した場合の特典を検討すべきでは？

### 回答

地域貢献や健康増進につながるボランティア活動に特典を付与することは、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するうえで有効な取り組みの一つである。

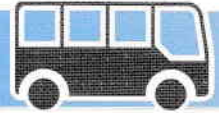
ボランティア参加に対しポイントなどの特典を付与し介護保険利用の際に使うことができる制度については、今後他都市の取り組みなどを参考に研究してまいりたい。

社会活動を通じて、生きがいはもちろん、閉じこもり防止、身体機能の向上、地域貢献につながっていくことが必要





## 地域公共交通政策



### 質問

地方交付税における基準財政需要額の経費として地域公共交通政策を位置づけるよう国へ要望等行うべきでは？

### 回答

これまでも全国市長会などから国に対し、地域公共交通に対する総合的支援等について提言等を行っている。

さらに、令和元年5月29日には、中核市市長会の「令和2年度 国の施策及び予算に関する提言」において、「地域公共交通の確保維持に係る支援等について」が新たに盛り込まれ、地域公共交通に関する支援について、重ねて国に要望を行っているところである。

本市では、地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにする「盛岡市地域公共交通網形成計画」を令和元年に策定予定であり、この計画における施策実現の財源を確保するため、今後も全国市長会をはじめ、様々な機会をとらえ、国に強く要望してまいりたい。



## 議案質疑で補正予算の感染症予防事業（風しんの追加的対策…）

### 質問

私も昨年取り上げた風しんの予防接種事業については、予防接種法施行令が一部改正され、今回の補正予算では、男性40歳～47歳の方に抗体検査等にクーポン券を送付（令和2年度以降に48歳～57歳の方を対象。）するようであるが、まず全国や市内での風しんの発生状況はどうか、令和元年度、2年度以降の抗体検査対象者数は、国保連への事務手数料の中身はどうか？

### 回答

全国の発生状況は、昨年2,917名、今年1,718名、市内では昨年1名、今年現時点では1名の発生が確認されている。

今年度の市内の対象者は14,851人、2年度以降19,186人であり、どこでも抗体検査や予防接種ができるように全国組織の国保連へ事務代行として一件あたり300円の事務手数料を見込んでいます。